

2025 年度 ルール注意事項

2025 年度ルール改正点

◎コーチング

試合中プレーヤー・チームは、コート以外の誰からもコーチングは受けることはできない。ただ、チーム対抗戦では、キャプテンがコート上に座っている場合のみ、チームキャプテンは、関係する設定機関によって許可されたタイミングでプレーヤーにコーチングを行うことができる（オンコートコーチング）。今回の改定はオフコートコーチングに関する JTA 規則の改定で、2025 年度のトライアルとして行い、チェアアンパイアの付く試合のみに適用される。この規則を採用するには事前に JTA の承認が必要で、大会要項に記載しなければならない。

◎フットフォールト

フットフォールトは、コートの審判台の位置から取るのが望ましいとされ、疑わしい選手がいた場合は審判台のところに行って取らなければならなかった。今年からはコートの内外から取れるようになった。審判員は試合の前のプレマッ
チで選手に伝えなければならない。

[その他の注意事項]

◎電子機器の使用

試合中携帯電話・スマートウォッチは電源が切られた状態でも試合中の着用は

認められない。電動ファン付きジャケット・ベストの着用及び電動ファンについては、各エンドチェンジ・セットブレイクの時間内に限り使用することができる。

◎タイブレーク・ゲーム

タイブレーク・ゲーム第1ポイントのサーバーとなるべきプレーヤー/チームは、次のセットの第1ゲームのレシーバーとなる。

◎エンドとサービスの選択

雨などの事情でウォームアップが中断され、コートを離れた時、トスの選択をやり直すことができる。トスの結果はかわらない。

◎ラッキールーザーのサインイン

天候等により、ラッキールーザーのサインイン締め切りの時刻よりも早い時点で新たな試合開始時間が発表された場合、サインイン締め切り時刻も延長される。ただし、サインインが締め切られた後に、試合開始が変更されても延長はできない。

◎スコアの誤りの訂正

試合中のスコアの誤りが試合終了時にわかった場合は、その誤りは訂正できない。試合終了後、勝者が試合結果のスコアを間違えて報告した場合は、両選手の同意が得られれば試合結果を訂正することができる。試合中に間違いを訂正した場合、同じ内容について再度訂正することはできない。

◎誤ったコールを訂正した場合（クレーコートを除く）

ミスジャッジをして「グッド」に訂正し、返球が正しく相手コートに入った場合

1回目ーポイントレットでやり直し

2回目ー以降は故意に妨害したとして失点

ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット、エースまたは、返球がアウトした場合は、相手への妨害が起こってないので、1回目であってもミスジャッジしたプレーヤー・チームの失点になる。

ダブルスのペアの判定が食い違っていても「グッド」に訂正した場合同じ扱いとする。

<試合で良く起こる事例>

・コーチング

チーム対抗戦以外の試合では、コーチングはいっさい許されない。

雨の中断はコーチング OK。ヒートルールでの休憩中はできない。

・ヒンダランス（故意の妨害）

自分が打つ前に、相手選手が声を出してプレーを妨害された。

その場合失点になる場合があるが、そのケースでラリーをしてしまったら

妨害とはみなさない。相手にボールが向かっている時に声を出さない。

・相手のジャッジに不満

ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」または「フォールト」である。判定が良くわからなかった場合は「グッド」である。

・落とし物

インプレー中、ラケット以外の持ち物を相手コート以外の地面に落とした場合、レットをコールしてプレーを停止し、それが1回目であったらポイントのやり直しになる。2回目以降はそのつど失点になる。

レットのコールは、落とし物をしたプレーヤー・チームがコールできない。

・他のコートからボールが転がってきたら？

両プレーヤー・チームが「レット」をコールできる。そのポイントを作り直す。ただし、既に打たれたボールがアウトまたはネットの場合は、そのポイントは成立する。

・ノットレディ

サーバーがレシーバーの構えを確認せず、レシーバーの準備ができていなかった場合、そのサービスのやり直しになる。

・ネット前に転がしてあったボールが風で動いたら？

両プレーヤー・チームが「レット」をコールできる。そのポイントを作り直す。

※同じ事が起こらないように、風の強い日はボールを処理しましょう。

・ファーストサーブフォールのボールを拾いに行って時間がかかった。

その場合でもセカンドサーブになります。サーバーのリズムに合わせてプレーしましょう。例外として、ファーストサーブになる場合もあります。

- ・スコアがわからなくなったら。

双方のプレーヤーが合意できるスコアまでさかのぼり、わからないポイントは無かったものとしてプレー再開する。R Uを呼んでください。

- ・サーバーの間違い。

直ちに正しいサーバーに代わる。パートナーの打たれたフォールトは取り消さない。対戦相手と間違えて交代した場合、フォールトは取り消される。

既にゲームが終わって気が付いた場合、入れ替わったままの順番で続ける。

- ・レシーバーの隊形が入れ替わっていたら？

そのゲームだけは間違っただままプレーを続け、次にレシーブする順番のゲームで本来の隊形にもどす。(タイブレーク中も同じ)

- ・エンドを間違えた。

すぐに正しいエンドに直す。

その場合、打たれたサーブのフォールトは取り消される。

- ・ラウンドロビン形式の試合でリタイアした。

完了試合にならない。リタイアの選手は、同じ日に同じ試合には出場できない。

翌日以降の試合には出場できる。

・判定とコール

ネット・スルー・タッチ・ノットアップ・ファウルショットは、両プレイヤーチームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。

・次の場合は、ロービングアンパイアに速やかに申し出る。

1.試合中、トイレ、着替え、ヒートルールなどでコートを離れる時。

試合中はコートを離れることはできない。トイレ、着替え、飲み物の補充などの要望は、ロービングアンパイアを呼んで申し出でる。

2.相手プレイヤーの言動やコール、フットフォールト等に疑問、不服がある時。

3.プレイヤー同士で解決できないようなトラブルが起こった時。

※選手の皆様へ

ポイント間は 25 秒です。レシーバーには 25 秒はありません。

サーバーのリズムに合わせてプレーを行いましょう。

ルールのご質問がありましたら、下記アドレスにメールにてご連絡ください。

shinpan@joshiren-chiba.org

* J T A ホームページ ルール Q & A もご覧ください。

<https://jta-tennis.or.jp/registration/tabid/737/Default.aspx>